

(書式1)【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	桑垣 玲子 (一般財団法人 電力中央研究所)
② 立候補の理由と 抱負 (400 字程度)	<p>リスクコミュニケーションの実践を担う企業や市民活動との連携、リスク学の教育などを通じて、リスク学会が活発になるような活動を展開していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>リスク学は学際的で専門人材が少なく、本学会は貴重な交流の場だと考えます。リスクコミュニケーション研究のため、私自身も社会学から環境安全工学へ移った大学院生の頃に入会し、コンサルタントとしても研究者となった時、本学会での研究者の方々とのつながりがモチベーションや支えになってきました。今期は定員を増やすことで大勢で支える体制を作ることができれば、家庭や業務とも両立できるのではないかと思ひ、立候補させていただきます。</p>
② 本学会における 活動歴	学会誌の編集委員をしています。第 36 回大会実行委員会委員を務めさせて戴きました。リスクコミュニケーションの TG に参加、運営しています。
④ 研究歴・職歴等 (100 字以内)	化学物質のリスクコミュニケーションの研究から、コンサルティング会社を経て、現在は、原子力に関するリスクコミュニケーションの研究をしています。

(書式2)【推薦者用】

① 推薦する候補者 名	桑垣 玲子
② 推薦者の 姓名と所属	竹田 宜人 北海道大学
③ 推薦理由 (400 字程度)	<p>桑垣氏は、リスクコミュニケーション事例研究 TG において、積極的に活動しており、本分野における中堅となる研究者の一人である。また、社会学の観点をもち、原子力や化学などの事業者の活動や海外事例も造詣が深いことから、当学会の諸活動、特に事業者や関連団体、市民と当学会の連携において大いに活躍が期待される人材である。今後、当学会の活動の活発化には、実学の観点から、現場とのつながりを知る会員の活躍が不可欠であることから、桑垣氏を理事候補として推薦します。</p>